

保全センターが開所

シーサイドホテルで式典

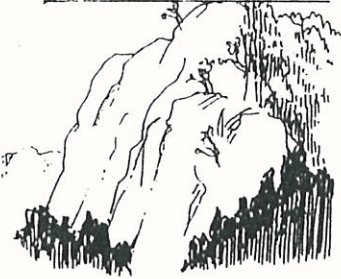
平成五年十二月屋久島国有林の森林生態系保護地域を中心とする約一万七千の森林が、日本で初めて世界遺産条約に基づく自然遺産として登録されました。林野庁としては、この自然遺産登録地域とその周辺地域等の保護・管理事業、森林レクリエーション事業、治山事業等を重点的に行う組織として、三月一日「屋久島森林環境保全センター」を設置しました。

同日は、「シーサイドホテル屋久島」において、来賓、職員約一二〇名が参加して開所式を行いました。

開所式は、木村前総務課長の司会で始まり、熊本営林局長式辞、林野庁長官挨拶に引き続き、小島自然遺産保全調整官から保全センター概要の説明が行われました。そのあと鹿児島県知事、久保百参議院議員、上屋久町長、環境庁九州事務所長から祝辞をいただきました。

その中で久保先生からは、「屋久島の自然遺産は、人と自然との共生によってつくられたものであり、

屋久島森林環境保全センター開所式



このすばらしい自然を次の世代に引き継いでいくために、保全センターの業務は非常に重要なものであり、期待しています。屋久島の発展のためにも頑張ってください。」との激励をいただきました。

また、三月一日付発令により保全センターの業務はつぎのスタッフで実行することに

- 旧上屋久営林署関係
- 三月一日付
- 計画課測定実行第一係長 山部 正富(業務課長)
- 小林署総務係長 甲斐 博文(総務係長)
- 四月一日付
- 森林整備課労務係長 木村 壽(総務課長)
- 延岡署会計係長 煤本 憲二(会計係長)

なりました。()は旧任地自然遺産保全調整官

- 小島 善雄(上屋久署署長)
- 保全センター所長 迫田 秋美(上屋久署次長)
- 専門官A総合調整V 大寺 義宏(上屋久署)
- 専門官B森林生態系保護V 林 友和(上屋久署)
- 専門官C治山担当V 下池 和彦(串間署)
- 専門官D普及教育・森林空間利用V 百田喜久郎(高鍋署)
- 庶務主任官 下崎 哲也(大阪局)
- 所員 日高 肇子(上屋久署)
- 河本 正人(日向署)
- 牧 伸一(上屋久署)



新入学(園)児の交通事故防止運動が四月六日から一五日まで実施されます。特に朝夕の通勤・通学時間帯の安全運転に心掛けましょう。A安全運転管理者V

- 長崎署総務係長 岩本 清文(造林係長)
- 長崎署企画係長 山田 茂(土木係長)
- 日向署森林官 山崎 隆治(小瀬田森林官)
- 林業講習所出向 森本 茂(宮之浦森林官)
- 川内署森林官 加藤 吉征(会計係)

屋久島の植物



サクラツツジ(ツツジ科)

枝分かれの多い常緑の低木であるが、大きいものは樹高が5mを超えるものもある。屋久島の溪流沿いや道路沿いの岩場に多く自生し、比較的容易に見ることが出来る。二月から五月に淡紅色の大きな四cm程度の花をつけ屋久島の春を彩る。

紀元杉の木製歩道が完成

ヤクスギランドから約5kmの林道沿いに位置する巨樹紀元杉の木製歩道60mが三月末完成しました。年間十二万人もの人々が訪れる島内でも有数の観光スポット。これまで根元の踏みつけ等による樹勢の衰えが心配されていました。

新任紹介

専門官 下池 和彦
平成七年三月一日付けをもちまして屋久島勤務となりました。出身地は鹿児島県伊佐郡菱刈町です。家族は妻と女兒(十一ヶ月)の三人です。屋久島の大自然に触れながら、魚釣りや登山をして充実した生活を送りたいと思っていますのでよろしくお願い致します。

所員 河本 正人
平成七年三月一日付けで保全センターに転勤してきます。昭和四九年一月一日生まれの二十一才独身です。出身は熊本県八代市で、現在宮崎県延岡市に実家があります。

初めてのセンター勤務という事で、戸惑いや不安がありますが、屋久島の自然を楽しみながら仕事に遊びに全力で頑張ります。